

行政視察（研修）報告書

【会派名：起新の会】

行政視察 (研修) 名		起新の会行政視察	
会派・参加者名		起新の会 (参加者：山科春美 庄司里香 石川正志 小嶋富弥 議席順)	
期 日		令和 4年11月 4日(金)～11月 6日(日)	
①	日 時	11月 4日(金)午後 2時00分～ 4時00分	
	視察(研修)先	衆議院第1会館 第6会議室	
	調査項目 及び内容	調査項目	みどりの食料システム戦略の実現に向けて
		調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ● みどりの食料システム戦略について 持続可能な食料システム確立に向けた国際的機運の高まり(国連食料システムサミット・COP26) <p>具体的取組</p> <p>調達→生産→加工・流通→消費</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 資材エネルギー調達における脱輸入・脱炭素化・環境負荷軽減の推進 2. イノベーション等による持続的生産体制の構築 3. ムリ・ムダのない持続可能な加工・流通システムの確立 4. 環境にやさしい持続可能な消費の拡大や食育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ● みどりの食料システム法について ● 認定制度等について ● (参考)みどり戦略交付金の実施事例 <p>説明者 清水浩太郎 農水省大臣官房政策課長</p>
質 疑 意見交換 所 感	<p>【所感】</p> <p>国においても抜本的な農業政策の見直しをしていると捉えている。地球環境問題、コロナ禍によるサプライチェーン危機、さらにウクライナ問題を背景として「食料の安全保障」が大きな社会問題をして再提起されているからだ。</p> <p>市議会においても今年度、農業に係る意見書を2件、国に</p>		

		<p>提出している。交付金問題と肥料等生産資材高騰に関する意見書である。この度の調査事項は、2050年を目途とした「みどりの食料システム戦略」を選定したが、内容としては概ね理解できるものの我が新庄市の農業問題解決には特効薬ではないと思った。現状より更に環境負荷の少ない生産方法では、新たに開発される農業機械や有機に由来する資材の使用が必要で、投資した経費を回収できるか疑問が残るからだ。10月末農業新聞によれば、食料自給率向上のため、これまで輸入に頼ってきた小麦・大豆・飼料など国内生産に向けた取り組みを強化することが報じられている。国の政策が新庄の農業振興に結びつくものか、今後も注視していきたい。</p>
--	--	--

②	日 時	11月 5日(土)午前 11時30分～12時30分	
	視察(研修)先	東京都豊島区巣鴨 地蔵通り商店街 アンテナショップ ガモール	
	調査項目	新庄市の物産取り扱い状況	
	調査概要	<p>新庄まつり in 巣鴨 (イベント) に合わせた物産の取り扱い状況を調査した。</p> <p>説明者 ガモール店長</p>	
調査項目及び内容	<p>質 疑 意見交換 所 感</p>	<p>【所感】</p>	

③	日 時	11月 5日(土)午後 2時00分～ 7時00分 11月 6日(日)午前 11時00分～12時30分	
	視察(研修)先	東京都豊島区巣鴨 大正大学構内～巣鴨地藏通り商店街	
	調査項目	新庄まつり in 巣鴨	
	調査概要	出発式および山車運行帯同	
調査項目 及び内容	質 疑 意見交換 所 感	<p>【所感】</p> <p>この事業に関しては、当初予算を審議する中で執行部から令和7年の新庄藩開府400年に向けた新庄市の魅力(新庄まつり)を発信していくための施策との説明を受けた。議員からも質疑が多かった案件で費用に対する効果があるのかといった内容と記憶している。</p> <p>5年前、大正大学からの招きで同じイベントに参加したが天候に恵まれず、思うような成果を出すことは出来なかった。この度は、新庄市が主催し、大正大学が協賛する形をとっているが、幸いにも天候に恵まれ主催者・協賛者をはじめ地元巣鴨の方々、新庄から派遣されたまつり関係者、物産関係者一同が満足できる結果になったと感じている。5日レセプションの席で巣鴨格商店街の会長さんからも感謝とまた来てくださいといったご挨拶を頂いた。参加した議員も山車運行に帯同するなかで地元の方から熱い歓迎を受けた。</p> <p>一方、新庄市からは特産品振興を図るため、無料で配る芋煮をはじめ、新庄産そば粉を使った手打ちそば、新庄焼きそば、その他販売のため準備したもの全て売り切れたと伺った。新聞からの引用になるが、山車連盟の会長さんは次のように語っている。「5年前はあいにくの雨の中での山車運行だったので、その分も含めて恩返ししたいと準備を進めてきた。2025年には新庄開府400年も控えており存分にPRしたい。」</p> <p>最後にイベントは大いに盛り上がったと捉えているが、執行部は、この度協力頂いたまつり関係者をはじめ物産販売者と効果や課題について十分に検証されることを期待する。多額の予算を投じたからにはそれ以上に効果の望める事業の推進が必要と考えるからだ。特に関係人口と称される若者のふるさと回帰に期待したい。</p>	

①



市民・公明クラブと合同の勉強会を行った。

②



③

